



総合学科の創造性 地域の力に

に し め

新志芽通信

No.022

令和6年12月13日
秋田県立西目高等学校

1月行事予定

日	曜日	主な行事
1	水	元日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	Kパック(3年)
7	火	Kパック(3年)
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	全校集会
15	水	課題テスト③(1・2年)
16	木	
17	金	1月進研記述(2年)
18	土	大学入学共通テスト、1月進研記述(1・2年)、看護模試②(2年)
19	日	大学入学共通テスト
20	月	公務員模試③(2年)
21	火	
22	水	
23	木	第4回定期考査①(3年)
24	金	第4回定期考査②(3年)、第3回英語検定1次試験
25	土	
26	日	
27	月	第4回定期考査③(3年)
28	火	第4回定期考査④(3年)
29	水	第4回定期考査⑤(3年)
30	木	
31	金	漢字検定③

生徒会役員選挙【11月29日(金)】

各役職の立候補者の決意表明演説、その推薦人の応援演説があり、その後に全校生徒による投票が行われました。今回の選挙では、それぞれの役職の定数と同じ人数の立候補者だったため、全て信任投票の形になりました。次期役員のみなさんは次の通りです。

会 長	小沼 夢菜 (2年)
副会長	土橋 美紀 (2年)
	蘆田 すみれ (1年)
議 長	齊藤 蓮音 (2年)
副議長	岸 琴未 (2年)
	塩形 亜衣華 (1年)



クラス対抗大会【12月4日(水)~6日(金)】

西目高校3大行事の最後、クラス対抗大会が開催されました。球技は、男女バスケットボール、バレーボール、男女バドミントン、男女卓球の4種目。テーブル競技は、オセロ、五目並べ、ババ抜き、ジェンガの4種目が行われました。バスケット、バレーの団体種目では、お互いにサポートしつつ戦い合うという、各クラスのチームワークが見られました。個人種目ではそれぞれの技術や気迫が見られました。どの競技も選手たちは全力で頑張り、クラスはその応援でとても盛り上がりました。特に、ジェンガはものすごいプレッシャーと緊張感の中で、とても白熱した試合が繰り広げられました。

《バスケットボール》



バスケ男子優勝 3-4



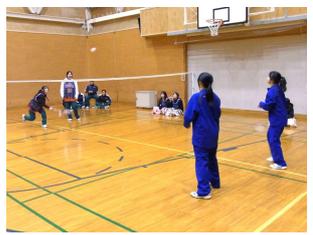
バスケ女子優勝 3-3



《卓球》 男子優勝 2-1、女子優勝 3-2



《バドミントン》



《バレーボール》 優勝 3-1



バド男子優勝 3-1



バド女子優勝 3-1



《オセロ》 優勝 2-1



《五目並べ》 優勝 3-4



《ジェンガ》 優勝 3-2



《ババ抜き》 優勝 2-4



合格体験記の紹介⑥（「進路の手引」より）

須田梨穂さんは、株式会社ANAFESTAに合格しました。中学まではテニスをやっており、バスケットは素人でしたが、バスケットボール同好会に入り、3年間一生懸命に練習を続けました。3年次には公式戦にも出場しました。

進路実現に向けて

須田梨穂(ビジネス会計系列)

私は、小さい頃からものを作ることが得意だったため、それを生かすことのできる仕事に就きたいと思っていました。しかし、ものづくりは好きな時間に好きなだけ趣味として行いたいと思い、他の職種を調べるようになりました。高校2年生のときに実施した起業体験プログラムという活動を通して、サービスや販売について興味をもつようになりました。この活動では、どうしたら利益が増えるか、どのような呼び込みをしたらたくさんの人が買ってくれるかをみんなで考えました。活動を通し、自分たちの考えた商品を販売することへの楽しさや、大変さを深く感じる事ができ、販売やサービスというものを仕事にしてみたいと強く思いました。それでは、進路実現をするにあたって、参考にしてほしいことをアドバイスします。

1 部活動や就職活動などを勉強と両立させる

3年生になるとテスト勉強や就職活動、検定などの時期が重なってしまうことが多く、何からすればよいのか分からなくなったり、一つの物事に偏りが出たしまったりすることがあります。最優先に行うべきことを整理し、ギリギリに行うのではなく早めに取り掛かり効率よく行うことがとても大切だと思います。

2 ストレスを発散させる

進路実現までの時間は長く、頑張りすぎてしまうと体調だけでなく精神も壊してしまいます。息抜きとして自分の好きな

ものを見たり聴いたりしてモチベーションを上げることでストレスを軽減できると思います。そして、一つのことが達成できたら自分に御褒美をあげることもよいと思います。進路実現に向け、休息も十分にとりましょう。

3 様々な人とコミュニケーションをとる

進路実現のために、不安なことはたくさんあると思います。特に県外就職は現在、希望する人が少なく、そのために頼れる人も少ないです。一人で考えて行動しなければならないことが必然的に多くなります。些細なことでも何か気になるのであれば、何でも先生方に相談してみてください。就職と進学で悩んでいるでも大丈夫です。きっと、みなさんにとってプラスになるアドバイスをくれると思います。また、友達と協力し合うことも大切だと思います。同年代の友達だからこそ話せることもあり、互いに励まし合えます。様々な人とコミュニケーションをとって自信をつけましょう。

4 最後に

高校3年間は、本当にあっという間に終わります。進路実現に向けて勉強や面接練習に励むことも大切ですが、高校生活を精一杯楽しむことも大事にしてください。みなさんは就職活動が始まると、友達と会うことも少なくなってしまうと思います。一日一日を大切に行事などを楽しみ、最高の思い出を作ってください。高校3年生は今までで一番、様々なことを両立させなければならない年だと思います。しっかり両立し、楽しい高校生活にしてください。

合格体験記の紹介⑦(「進路の手引」より)

佐藤柚花さんは聖園学園短期大学に合格しました。1年次から目標に向かって勉強を頑張っていました。弓道部に所属し、毎日の練習に熱心に取り組みながら、勉強も一生懸命取り組み、優秀な成績をおさめました。

進路実現のために

佐藤柚花(教養文化系列)

私は、保育に関する仕事に就きたかったので、入学前には行きたい進学先が決まっていた。私が受験までに取り組んだこと、意識したことを紹介します。

1 進学先を研究する

私は、オープンキャンパスや高大連携授業に参加したり、学校のサイトやパンフレットを確認したりして進学先への理解を深めました。理解が深まれば、面接の時やいざ進学した際にイメージの違いなど起きないからです。まだ決まっていない人も、候補の進学先について早めに調べるべきだと思います。

2 面接

進路研究したことをもとに、面接練習をしました。面接練習は慣れることが大切なので、回数を重ねました。回数を重ねるごとに自分自身の足りないところや改善点を見つけることが

できます。また、本番は緊張するので何度も練習を重ねた分、スラスラ話すことができました。

3 受験当日

受験前日は早く寝て体調を整えました。当日は緊張していたので受験会場につくまで好きな音楽を聞くなどして心を落ち着かせてました。会場に入ってから面接ノートを見返していました。

4 まとめ

受験まで一人ひとりができることに、一生懸命取り組むことが大切だと思います。後悔しないように、しっかり準備をして受験することをおすすめします。

5 おすすめ参考書・問題集

『パスポート国語必携 四訂版』 桐原書店

勉強の仕方について⑤

今回は、理科の勉強の仕方について紹介します。理科のそれぞれの教科担当の先生方から寄稿していただきました。生物・化学・物理それぞれに勉強のコツがあります。ぜひじっくり読んでみてください。

理科の学習方法について

～基礎基本の定着から応用まで～

《生物・生物基礎》

理数系の中でも暗記傾向の強い生物ですが、用語の意味を理解することができれば内容を押さえやすい科目です。漢字やカタカナが多くありますが、一つ一つ分解して読み解くと、ありのままの名称になっていることに気付くと思います。例えば、「基質特異性」は基質→酵素が働きかける物質、特異→特別に他と違う、性→性質、つまり酵素は1つの基質にしか特別な働きをしない性質を持つ、という意味になります。カタカナはギリシャ語、ラテン語、英語などが語源となっている場合が多く、調べてみると新たな発見が見つかるかもしれません。

最低限の暗記はもちろん必要ですが、最も大事なことは「流れ」を掴むことです。タンパク質の合成など、複雑そうに思える過程でも、起こっている出来事を順番通りに並べることで、なぜこの結果になるのか分かるようになります。問題集を繰り返し解くことも効果的です。漢字やカタカナに惑わされず、自分のからだや周りの科学的現象と照らし合わせながら勉学に励みましょう。

《化学・化学基礎》

高校化学は暗記科目です。そして、読解力があると更に成績が伸びます。

まずは、教科書を音読しましょう。黙読では実は内容を理解できていないことが多いです。問題を解くときもそうです。音読してください。音に出すことで何を聞かれているかを確認してください。

そして、規則や法則、ルールを意識しましょう。高校化学は「決まりごと」を覚えると楽になります。この「決まりごと」は学校で配っているワーク類に簡潔にまとめられています。

あとは、ワークがボロボロになるまで繰り返し行いましょう。模範解答をよく読むことも大切です。解答を書き写すものではありません。どうやって模範解答の解答になるかを確認します。ここでも音読をして、書いてあることが理解できるかが大切です。分からなかった問題を中心に、自力で模範解答を再現できるまで繰り返し学習をすれば、みるみる成績があがるでしょう。

一般論として、勉強をする時間をつくる。やったこと・練習したことしか成長しないので、学力をあげるにはそれなりの苦労が必要になります。そして、わからないことを「わかる」までやる。魔法は存在しないので、やった分成長できます。

《物理・物理基礎》

物理では、普段の学習の積み重ねが大切です。問題を繰り返し解いて、パターンになれることが大切です。

また、物理という科目は、身のまわりの事象について数値を用いて計算していくため、実際には見えない数値に混乱する人を多く見かけます。教科書の説明をよく読み込むことによって、事象についてより理解が深まりますので、学習するときは教科書も同時にチェックすると良いと思います。

物理の問題を解く際には、日本語の表現にも気をつけて読んでみてください。「なめらかな」ならば摩擦なし、「あらい」ならば摩擦ありなど、物理独特の表現に注目すると、出題者が何を聞きたいのか、何に気をつけてほしいのかが理解できると思います。

これらに気をつけて何度も問題集を解いていきましょう。